

令和8年度県立中学校入学者選抜 適性検査問題作成方針

I 全般的な作成方針

- 1 学習指導要領に基づき、入学後に求められる思考力、判断力、表現力等をみることができる総合的な問題を作成する。
- 2 事象を読み解き、身の回りの環境や社会に積極的に働きかけていくことへの適性をみることができる問題を作成する。
- 3 問題解決のために必要な情報を収集、整理・分析し、筋道を立てて考えたり、自分の考えを表現したりすることへの適性をみることができる問題を作成する。

II 各適性検査問題作成方針と各問のねらい

適性検査Ⅰ

[作成方針]

- 1 人や社会にかかわる事象について、資料、会話文、文章などの内容を読み取り、必要な情報を関連付けて思考・判断・表現する学習の状況を見る。
- 2 想定された生活場面や学習場面をとらえる中で、課題をつかみ、解決に向けて思考・判断・表現する学習の状況を見る。

[各問の内容]

- 1 児童会長選挙で、タブレット端末を使った投票を導入することについて考える場面で、タブレット端末の投票を行う際の注意点について、選挙の基本原則と結び付けながら、思考、判断した内容を表現する。
- 2 長野県のある地域が、全国有数のレタスの産地である理由について考える場面で、生産地の課題と新たな取組や工夫について調べ、資料と比較し、関連付けながら、思考、判断した内容を表現する。
- 3 長野県で広がりをみせる松くい虫被害の対策について考える場面で、資料から松くい虫被害の原因や全国および長野県における被害の現状を読み取り、実際に長野県で実施されている対策や切った松の活用方法について、思考、判断した内容を表現する。
- 4 文献「A Iに書けない文章を書く（前田 安正 著）」を通して、自分にしか書けない文章には、状況→行動→変化の流れが含まれていることに触れられた文章を読み、本文の内容を捉え、筆者の考えを踏まえて自分の行動と変化の流れについて、思考、判断した内容を表現する。

適性検査Ⅱ

[作成方針]

- 1 自然科学や数理的な事象について、図や表、会話文などをもとに、必要な情報を収集、整理・分析する中で、見通しをもち筋道を立てて思考・判断・表現する学習の状況を見る。
- 2 理由の根拠や解決の方法及びその結果を、図や表などから考察し、振り返ったり解釈したりする中で、事実を関連付けて思考・判断・表現する学習の状況を見る。

[各問の内容]

- 1 身近な生活における数的処理を行う場面で、与えられた条件をもとに、数量や図形などについて学習したことと結び付けながら、思考、判断した内容を表現する。
- 2 日時計づくりをきっかけに、影と影の間の角度と、見かけ上動く太陽の角度の違いを考える場面で、太陽の位置と向き、影の向きについて観察した結果を関連付けながら、思考、判断した内容を表現する。
- 3 ピザ窯作りに係るレンガの運搬と並べ方と煙突の効果を考える場面で、条件に基づいて考えたり実験結果を関連付けたりしながら、思考、判断した内容を表現する。
- 4 水に浮く野菜と沈む野菜があることの理由を考える場面で、体積や重さに着目しながら、実験結果を分析して、思考、判断した内容を表現する。